

# 平成26年度 自己点検・自己評価報告書

華学園栄養専門学校  
平成27年3月10日作成

# 教育目標と本年度の重点目標の評価

<b>学校の教育理念・目標</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建学の精神は「華学園の教育を通じて、時代の求める職業人を育成し社会の発展に寄与する事」であり、行動指針の第一条は「社会のニーズを知り、技能を修得し知識と礼節を身に付けること」と定めている。</li><li>・ 学校の教育目標は「栄養に関する知識及び技能を修得させ、あわせて社会人として必要な一般教育を授けて栄養の指導者を養成し、もって国民福祉の増進に寄与すること」である。</li></ul>
<b>平成26年度重点目標</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 管理栄養士の国家試験合格率 90%を達成する。</li><li>・ 就職の質の向上と就職に対する意識付けを早期から行う。</li><li>・ 教員の資質の向上に努める。</li><li>・ ながらスマホ等の撲滅、挨拶、返事などの社会人としてのマナーを身に付ける。</li></ul>
<b>計画</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 管理栄養士の国家試験事前講座を継続して実施する。</li><li>・ 卒業生の各企業での在籍状況の確認、寄せられた求人票から好条件の企業を各教員と情報の共有に努めキャリアセンターと協力して分野別企業説明会、校外研修を利用し早期意識付けを促す。</li><li>・ 学生のいない出勤日を利用して技術講習を行う。 教員の研究の推進をする。 企業と提携して、臨床メニューの開発を行う。</li><li>・ 「ながらスマホ等の撲滅」「朝の挨拶当番」などを実施して指導強化に努める。</li></ul>
<b>計画の達成状況</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 管理栄養士の国家試験受験結果は、1期生の合格率 61.9%、2期生の合格率 78.1%であった。</li><li>・ 就職に対する早期意識付けはキャリアセンターと協力し分野別の企業説明会、校外研修を集中して行った結果、学生の就職に対する意識は高まり就職活動開始時期が早まった。</li><li>・ 学生のいない出勤日を利用して技術講習を行った。 学会等のセミナー、研修会に参加した。 三共の臨床メニューの開発を企業と提携して行った。</li><li>・ 「ながらスマホ等の撲滅」「朝の挨拶当番」などを実施して指導強化に努めた。</li></ul>
<b>課題と解決策</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国家試験対策講座を実のある講座にするために見直す。</li><li>・ 「ながらスマホ等の撲滅」「挨拶」に関しては、入学直後のオリエンテーション内でも時間をかけて身に付けるように指導し、在籍中も定期的に指導を継続する。</li><li>・ 担任が就職先に関する知識を付け、キャリアセンターと連携して就職に対する早期意識付けを行う。</li><li>・ 企業との情報交換により、業界のニーズの把握や学生に必要な技術の習得などに務め、またより多くのセミナー等の参加を促し、教員の資質向上に努める。</li></ul>

基準項目ごとの学校自己評価及び学校関係者評価・意見

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準1 教育理念・目的・育成 人材像等	理念・目的・育成人材像は定められているか	学園の建学の精神に則り、明確に定めており、その実現に向けて教職員共通認識の下、取り組んでいる。 この内容については学生便覧で明示している。	4	4
	育成人材像は業界の人材ニーズに適合しているか	平成26年度職業実践専門課程の認定を受け、教育課程編成委員会を発足させ、教育課程編成委員会を開催し、提案いただいた意見により人材ニーズを取り入れている。	4	3.8
	特色ある教育活動に取り組んでいるか	「調理も巧みな栄養士・管理栄養士」を目指し、法定科目以外に基礎調理実習、献立作成等の実践教育を行っている。さらに、キャリア支援プログラム、特別授業により専門知識・技術の他に社会人基礎力の育成に取り組んでいるところである。	4	3.8
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・目的、人材育成の方向性は大変評価できる。 ・実践教育の成果(調理の実習、献立作成など季節感のある物、四季なども教えてほしい。春にはヨモギ、夏には・・・秋、冬、節分には豆など。		評価平均	
			4.0	3.9
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		自己評価の妥当性	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準2 学校運営	運営方針を定めているか	建学の精神に基づき明確に運営方針が定められている。	4	3.8
	事業計画を定めているか	学園の経営方針に則り、事業計画及び予算を編成している。事業計画及び予算は、理事会・評議員会で承認を経た後に、その進捗状況について、毎月の連絡会議、業務報告会議において理事に報告の上、確認、修正を行っている。	4	3.8
	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	組織運営の健全化を図るため、前年度の実績をもとに年度初めに組織が再構成されている。	4	3.8
	人事・給与に関する制度を整備しているか	人事考課制度および給与規程が整備されている。個々に業務目標を立て、その達成度を上席者と面談し評価を行い、給与規程に則り、昇格、降格、賃金を決定している。	3	3.4
	意思決定システムは確立されているか	稟議制度により各部署から理事長まで案件が回付され決定される。稟議に馴染まないものについては職員会議を通じて、意思決定を図っている。	3	3.4
	情報システム化により業務の効率化が図られているか	各部署パソコンを導入し業務の効率化を図っているが、今後は学園全体のネットワーク利用により業務の効率化を図る必要がある。	2	3.2
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・仕事の効率化のための情報システムの整備は急務である。		評価平均	
			3.3	3.6

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		自己評価の妥当性	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準3 教育活動	各学科の教育目標は業界のニーズに合致しているか	教育理念、栄養士法を基に、教育課程編成委員会の意見を取り入れ学科ごとに定めているが、教職員により曖昧な認識があり、今後はその徹底が必要である。	4	3.4
	各学科の教育目的に沿ったカリキュラムが編成されているか	カリキュラムについてはシラバスを作成し、学科ごとにその授業内容を定めているが、今後はその内容の適正さを精査する必要がある。	3	3.2
	キャリア教育を実施しているか	今後は研修・アクティブラーニングの導入を検討している。校外での研修を利用し、キャリア教育を実施している。	2	3.0
	授業評価を実施しているか	学生による授業評価アンケートを実施し、その評価内容に伴い、授業の改善を図っている。ただし、評価項目が適正か見直しが必要である。	3	3.4
	成績評価・修了認定基準を定め、適切に評価しているか	学則により科目ごとの成績評価・単位認定の基準は明確に定められており、それに基づき適切に評価されている。また段階ごとに技術認定試験を実施しており、技術の修得が遅れている学生には、補講、追試という形で技術力の向上を図る。	4	4.0
	資格・免許取得の指導体制はあるか	栄養士法に基づき、栄養士科・管理栄養士科は、資格取得の科目を履修させている。また、管理栄養士資格取得のためのサポート授業も行っている。栄養士はもとより介護職員初任者研修などの必要性の高い資格については正規授業に取り入れ取得させている。	4	4.0
	資格・要件を備えた教員を確保しているか	専修学校設置基準、栄養士養成施設指導要領、管理栄養士養成施設指導要領、学則に則り確保している。科目によっては要件を満たす教員の確保が難しく、採用に苦慮しているため、今後は採用時期の見直しなど改善方法を検討する。	4	3.4
	教員の資質向上への取組みを行っているか	各専門科目に関連する学会等の講習への参加、栄養士・管理栄養士現場研修、論文発表等を実施し、教員の資質向上を図っている。	3	3.6
学校関係者評価・意見・改善方策 ・アクティブ・ラーニングの実践(学園独自のものでもいい)をして、多方向授業の実践が必要である。			評価平均	
			3.4	3.5

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		自己評価の妥当性	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準4 学修成果	就職率の向上が図られているか	就職希望学生の就職に関する目標は、ほぼ達成している。より良い就職先確保のためには、学生知識技術の向上等が必要である。今後は就職後の在籍状況の調査を行い離職率等についても分析が必要である。	3	3.4
	資格・免許の取得率の向上が図られているか	就職に役立つ資格取得講座を取り入れて、正規授業外においても対策講座を行なった結果、取得率も伸びている。今後は資格取得の重要性を学生に認識させるよう努め、さらなる資格取得を促す。	4	3.8
	卒業生の社会的評価を把握しているか	毎年、企業に卒業生の在籍状況などの確認を行っているが、情報不足は否めない。今後は同窓会の活動を活性化させ、卒業生の情報収集に役立てる。	2	3.0
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・学校にとって、卒業生の実績はアピールになるので、その集約は必要である。 ・華の学生のここはすばらしいという得意な分野をさらにのばして欲しい。	評価平均	3.0	3.4
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		自己評価の妥当性	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準5 学生支援	就職等進路に関する支援組織体制を整備し、有効に機能しているか	就職専任のキャリアセンターを組織し、クラス担任と連携し就職体制を整備している。今後は担任が就職先についてさらに理解を深める必要がある。	2	3.2
	退学率の低減が図られているか	早期に学生の異変を察知するようにし、担任、学生指導係、必要があれば保護者と連携して対応に当たっている。	3	3.6
	学生相談に関する体制を整備しているか	クラス担任及び学生指導係、教務部が連携して学生相談に当たっているが、最近は学生の悩みも多様化しているため、専門家によるサポート体制も検討したい。	3	3.2
	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	民間学生寮の紹介、アルバイト進学制度を設けている。アルバイト進学希望者には、就職先企業紹介と同時に住居として社員寮が提供され、働きながら学べる支援体制を整備している。また、アルバイト進学学生の生活指導を会社と連携して行う。	3	3.6
	保護者との連携体制を構築しているか	保護者に成績表の送付などを含め連絡・報告し適切に連絡している。特に問題の多い学生については保護者と連携を密にしている。	3	3.6
	卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に対しても、就職斡旋等を積極的に支援している。また、卒業生からの各種証明書の発行についてはホームページから申込できる体制を作っている。	3	3.6
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・全体には良く学生の面倒を見ていると感じる。 ・入学した以上、卒業することは大事なことなので、退学者がでないような指導をし、入学生に自慢できる学校にしてほしい。	評価平均	2.8	3.5

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準6 教育環境	教育上の必要性に十分対応した施設設備・教育用具等を整備しているか	栄養士法に則り、必要な設備は整備されている。ただし、常に維持管理を行う必要がある。次年度は、パソコン教室のパソコン入れ替えを行う予定である。	4	4
	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	校外研修のほか栄養士科では、2週間にわたる校外実習、管理栄養士科では、3週間にわたる臨地実習を行っている。また、希望者による欧州研修旅行も行っているが、研修成果の伴う実習をさらに検討している。さらに島根県の邑南町と協定を結び実践的な職業教育を目的に農業体験研修を行い、食材についての専門的な知識、産地の食材を活かした調理方法、生産者や料理を提供する側の思いなどを学ぶ研修を行った。	4	4
	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	学園の防災組織を整備し、各校、関係部署の防災責任者による防災会議を定期的に行っているが、防災訓練に対する取り組み姿勢がまだまだ低いと、さらに検討が必要となっている。	4	3. 4
	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	年2回の自衛消防訓練（防災・防火避難訓練）を実施するなど、適切に運用している。学生、職員への防災グッズの配布と、学園での防災用品の備蓄を行っている。校舎においては、全て耐震構造となっている。	4	4
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・校舎の安全性はすばらしい。		評価平均	
			4. 0	3. 9
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準7 学生の募集と受け入れ	学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	高校の進路担当者へ積極的な情報提供を行っている。また、高校からの要請によるガイダンスや見学会には可能な限り応じている。進路のミスマッチを防ぐために体験入学において、授業体験や教員との面談を実施している。また、積極的に保護者の見学等も受け入れている。	3	3. 8
	入学選考基準を明確化しているか	入学選考基準を明確に定め、その基準を募集要項に明記している。	4	3. 8
	学納金は適正なものとなっているか	入学者の経済面を考慮し、東京都内においては比較的安く、負担が少ない設定にしている。今後は材料の高騰、消費税増税などの影響により、教育水準の維持向上のための学費見直しが必要となってきている。	3	3. 4
	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者から返金の申し出があった場合は、「入学辞退者に対する授業料等の取り扱い（18文科高第536号）」に則り、適正に処理されている。（入学金を除き返還に応じており、募集要項に記載済み）	3	3. 8
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・経済面の負担が多いと入学できないこともあるので、学校側もいろいろ方法を考えてもらいたい。		評価平均	
			3. 3	3. 7

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価の妥当性		自己達成評価	自己評価の妥当性
基準8 財務	中長期的な財務基盤は安定しているか	充実した専門教育の実施に必要な教職員、施設設備等を確保して学校運営を行っている。 借入金も無く、設備投資等も全て自己資金で行っている。財政基盤は安定しているとはいえ、18歳人口の減少という厳しい状況をふまえ、入学者確保を重視した学校運営をするとともに、安全確実な資金運用による財務基盤の向上を目指す。		4	3.8
	予算、中期計画は妥当なものとなっているか	予算計画の中心である事務局の機能を高めるとともに、各学校教務部との連携を深め、単年度予算および中期計画を策定している。中期計画については、まだ短期的に捉えているところがあり、視野を広めた計画を立てる必要がある。 また、予算編成および予算執行全般について、さまざまな改善を実施し、無駄な支出を防ぎ、経費節減を図っている。		4	3.8
	財務についても適切に監査を実施しているか	公認会計士による、日常および決算書類作成の会計指導が行われ、監事による会計監査を行っている。決算後には、公認会計士から報告書が提出され、指摘事項等について改善を図っている。		4	3.8
	財務公開体制を整備しているか	私立学校法における財務情報公開の基準に沿って、ホームページでの公開や希望者への閲覧体制を整えている。ホームページ等インターネットを活用した公開方法については、今後も工夫を重ねていく必要である。		4	3.6
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・設備投資なども大変であるが、今後も計画的に実施してほしい。		評価平均		4.0
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価	
		評価総括並びに改善方策		自己達成評価	自己評価の妥当性
基準9 法務等の 遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営を行っているか	毎年2月に、厚生労働省に対し運営報告を行っている。		4	4.0
	個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報に対する取扱いについては、管理の徹底を行っているがパソコンの普及により、さらなる対策を講じる必要がある。		3	3.2
	自己評価・学校関係者評価の実施体制は整備されているか	毎年、自己点検・自己評価を行い、自己評価については学校関係者評価委員からの評価を受け、ホームページにて公表をしている。また、指摘事項については速やかに改善を行っている。		4	3.8
	教育情報に関する情報公開を行っているか	ホームページへの掲載を行っている。		4	4.0
	学校関係者評価・意見・改善方策 学校側もいろいろ会議や話し合いをし、努力をしていることが分かった。		評価平均		3.8

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		自己評価の妥当性	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準10 社会貢献	社会貢献・地域貢献を行っているか	生涯学習センターとして、東京都食育フェアに参加している。株式会社共立メンテナンスと共同で学生寮の食事調査、アンチエイジング栄養セミナーを行いました。 その他日常において、小児糖尿病患者に食事の提供や食事アドバイスを病院の管理栄養士と一緒にボランティア活動として実施している。 また、台東区のシニア向けの栄養講習会も実施している。	2	3.8
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・地域との交流は大事であると感じる。		評価平均	
			2.0	3.8

**【注記】**

※達成状況は

5=完璧 4=かなり進んでいる 3=普通 2=やや足りない 1=ほとんど進んでいない

NA=当てはまらない

※学校関係者評価は

自己評価の妥当性

5=目標を十分達成している 4=目標を達成している 3=目標をほぼ達成しているが改善の余地がある

2=目標を達成するにはいくつかの課題がある 1=課題が多く改善が必要